

学生フォーミュラへ抱負

静岡理工科大生、車両も披露

袋井市役所

27日に袋井、掛川両市のまたがる小笠山総合運動公園で開幕する「第17回学生フォーミュラ日本大会2019」に出場する静岡理工科大フォーミュラチームの壮行会が20日、袋井市役所で開かれた。

大会はガソリンエンジン車(ICV)、電気自動車(EV)の2部門でデザインやビ



大会に向け意気込む学生＝袋井市役所

ネスプランの提案、車両の走行性能などを競う。大会は27～31日まで開催され、両部門に国内外から計98チームが出場する。

壮行会では、集まった市の職員や市民に学生が車両を披露した。今大会はインバーターの故障によりEV部門の出場は断念し、ICV部門のみの出場となった。「流走」をコンセプトに、走行性能を重視して整備した車両を紹介した。チームリーダーの齋藤駿さん(21)は「EVの出場はかなわなかったが、チーム全員で全力で戦い、総合15位以内を目指す」と健闘を誓った。

(袋井支局・中原僚介)